

日本人は古^{いにしえ}から手を洗っていた

世界で最も綺麗好きな日本人の、ウガイ・手洗い・マスクは独特な習慣であるようで、外国人から見るとかなり珍しい習慣に見えるようです。日本ユニセフが中心となって、世界に手洗いを広める動きがあります。



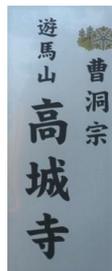
関東三大稻荷の白笹稻荷神社の手水舎は、孟宗竹に開けた幾つもの穴から落ちる手水で参拝前の手を清めます。(白笹の湧き水)

珍しい手水舎

ちようざしや

盥掌の偈

以	水	盥	掌
い	すい	かん	しょう
当	願	衆	生
とう	がん	しゅう	しょう
得	上	妙	手
とく	じょう	みょう	しゅ
受	持	仏	法
じゅ	じ	ぶつ	ぼう



曹洞宗の開祖、道元禅師が手を洗う際にお唱えされた言葉です。盥とは「たらい」を表し盥の水で丁寧に手を洗い清浄にすることがお釈迦様に対して敬虔な合唱拜礼に繋がるとい意味で、今から七七〇年前にも手洗いし清らかにしておくことの大切さを言われていました。

(遊馬山 高城寺 住職)